

【FdData 中間期末：中学歴史：平安時代】

【荘園の発達】

【問題】(1 学期期末)

藤原氏の権力を支えたのは、ぼう大な私有地だが、この私有地を何といいますか。

【解答】荘園

【解説】

荘園：藤原氏繁栄の経済的基礎

豪族や有力農民：開墾地を貴族などに寄進

→自分は荘官 不輸の権，不入の権

荘園^{しょうえん}が発生したのは、奈良時代に^{こんでん えいねん}墾田永年私財法(743年)が出された後である。貴族や寺院は、^{ふろう}浮浪農民を使って^{かいこん}荒地を開墾し、荘園という私有地を^{かくとく}獲得していった。このような初期の荘園は、私有地であるが、^{そぜい}租税を納める義務は負っていた。

しかし、やがて、藤原氏などの貴族や有力寺院はその^{けんい}権威を悪用して、自分の荘園を「これは田ではなく、自分の^{ていたく}邸宅の庭(荘園)である」という^{りくつ}理屈

をつけて、租税がかからないようにしていった。
10世紀後半になると、地方の^{ごうぞく}豪族や有力農民の中には荒れ地を開墾して私有地を広げる者が出てきた。彼らは土地にかかる租税を逃れるために、土地を藤原氏などの有力貴族や大きな寺院に^{きしん}寄進して、税の免除を受け、自分は名目上^{しょうかん}荘官になって、有力貴族等に(税よりは少ない)年貢^{ねんぐ}を納めるようになった。税を国に納めなくてよい権利を^{ふゆ}不輸の権という。そして、国司の使者の立ち入りを拒む^{ふにゆう}不入の権をも獲得した。

このようにして、藤原氏へ寄進される荘園が増加し、そこから上がってくる年貢によって、華やかでぜいたくな生活を送った。藤原氏繁栄の経済的基礎は荘園という私有地であった。

[問題](1 学期期末)

藤原氏の繁栄の基礎は寄進された多くの荘園であった。荘園とは次のうちのどれですか。1つ選びなさい。

[豪華な家 私有地 奴隷 食料]

[解答]私有地

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えなさい。

(1) 荘園に関する次の特権を何とというか。それぞれ答えなさい。

- ① 国司の立ち入りを拒否できる権利
- ② 税を国に納めなくてよい権利

(2) 荘園で、その土地を現地で管理した人を何と
いいますか。下の[]から選んで答えなさい。

[荘園領主 郡司 名主 里長 荘官]

[解答](1)① 不入の権 ② 不輸の権 (2) 荘官

[問題](2 学期中間)

平安時代の地方の様子について、次のように書き出した。この文の続きとして最も適切な文を、下のア～エから1つ選べ。

平安時代、政治の実権は、藤原氏がにぎっていた。()

- ア そのため、地方にも藤原氏の監視が行き届き、地方政治は安定した。
- イ しかし、地方の政治は国司にまかせたきりになり、不正を行う国司も出て、地方の政治は乱れた。
- ウ しかし、地方では農民中心の政治が完成しており、藤原氏の影響はなかった。
- エ しかし、地方では藤原氏の影響は弱く、地方に住む人々は豊かな生活ができた。

[解答]イ

[解説]

はんでんしゅうじゅほう 班田収授法 と そようちょう 租庸調の税制は、すでに奈良時代に行きづまっていたが、平安時代にはいり、班田の給付はほとんど行われなくなっていた。このままでは財政を維持することが難しくなったため、朝廷は、10世紀にはいって方針を変更し、国司に一定額の税の納入を請け負わせるかわりに、その

国の統治をすべてまかせるようになった。国司は、やがて課税率をある程度自由にきめることができるようになり、私腹^{しふく}を肥^こやし、巨利^{きより}をむさぶる者が現れた。国司の中には強欲^{ごうよく}な者も少なからずおり、尾張国の国司のように有力農民や郡司によって、その暴政を訴えられる者もあった。

こうした国司の不正に対して取り締まりをおこなうべき中央政府(藤原氏の摂関政治)は、ほとんど何もせず、それどころか、国司の官職を売買することが行われていたのである。摂関政治のころには、朝廷の政治は先例^{きしき}や儀式を重んじる形式的なものとなり、国政に関して積極的な政策をとることはほとんど見られなくなっていた。

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sr1/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com